

# うたしない 市議会だより

## 第36号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成26年7月1日

6月、中学生対象に行われたかもし岳温泉ロビーでのチェロコンサート



### 平成26年 第2回定例会 6月開催

#### もくじ

- 委員会報告……………1P
- 一般質問……………2～4P
- 可決された意見書……………4P

## 議会の動き

### 定例会の開催

6月11日～13日の3日間、第2回定例会が開催されました。

初日11日は、報告3件、諮問1件、議案9件が審議され、12日～13日に議員7名の一般質問と意見書13件が審議され閉会しました。

### 行政常任委員会報告

委員長 川野 敏夫

- ▼4月28日開催
- 企業誘致の取り組み状況について
- 中小企業振興保証融資事業の状況について
- 有害鳥獣対策について
- 奨学金及び就学援助の状況について

- 放課後子どもプラン推進事業の状況について
- 食育指導の状況について
- 公民館の管理運営状況について（現地視察含む）
- 郷土館の管理運営状況について（現地視察含む）
- ▼5月26日開催
- 移住のPR活動の状況について
- ホームページの活用状況について
- 生活保護の現況について
- 母子自立支援、家庭児童相談の現況について
- 介護保険事業の現況について
- 社会福祉協議会への委託事業の状況について
- 温泉施設利用優待事業の状況について



かわの 敏夫

一 人口減少対策について

問 本年設置された歌市内市定住促進検討委員会で検討された内容は何か。又、職員全員での発想とは何か。

答 定住促進対策検討委員会

については、定住対策を総合的に推進する目的で五回開催している。検討内容としては、定住住宅建設用土地確保の為市有地売却についての調査・検討、移住定住対策に係る意見・提案を各課の部会毎に募集し五月末にて取りまとめた。

全庁的に各所管が調査・検討する体制とした事で職員一人ひとりが市の現状を再認識し大胆な発想での提案等で意見交換をする大事な取り組みとなっている。

問 大胆な発想等々百十五件の提案が有ったそうだが精査するにはどの程度掛かるのか。

答 各部会にて二〜三ヶ月掛けて精査し一点突破の施策は無く総合的な考えで出来ない理由では無く、どうすれば出来るかを前提に検討する。

問 検討委員会外部の意見徴収として、一般市民、学生、

議員も参加できないか。

答 知識経験者の参画は予定していたが、他は今後各部会及び市長と協議する。

問 定住自立圏形成に当市の構想はどの様なものか。

答 市町村合併とは異なり中心市と連携市町が一对一で相互にメリットのある分野で協定し都市機能等を活用し当市は必要な生活機能を維持し独立した行政運営をする。今後は民間や地域関係者と共生ビジョン懇談会等で整理する。

二 歌市内の教育について

問 教職員の市内居住により

地域との繋がりが強化、いじめ排除に期待するが対策は。

答 地域との繋がりが強化には大切な要件だが、教職員は広域で異動し通勤圏内に自宅を所有した場合強制できない。

問 市職員は町内会活動、各種イベント、消防団等に参加して地域、関係機関との信頼が持たれています。教職員も同じ町、同じ町内に住む事で地域、保護者、児童生徒と信頼が増すと思うが如何か。

答 児童生徒等の関連するイベント等には極力参加するよう指導している。



梶 敏

一 太陽ファームについて

問 歌志内の特産品づくりを目指し、当時の河原市長を、先頭にワイン用ぶどう栽培に期待を寄せイベントを行い、多くの市内外の収客があった。先日、北炭空知砦で働いていた方のクラス会がありぶどう畑にも連れて行ったが、近年栽培が休止されていると聞いたが、今後の栽培計画と技術者は足りているのか、耕作面積は十分にたりているのか、鹿等の被害はどうなのか。

答 ワイン用ぶどう栽培と羊の飼育を行っており、羊の飼育は、事業の効率性から今年7月に札幌市に移転する。ワイン用ぶどう栽培は、今後の投資予定はない旨確認している。又、ワイン用ぶどう栽培の専門技術者はいない旨確認している。耕作面積が足りていたか確認していない。

二 歌志内のマチづくりについて

マチづくりについて

問 3月に人口4千人を切った。昭和33年に市制施行時は3万人を超え4万人が住んで

いたと言う。今後、少子高齢化で市に貢献した高齢者の人が多くなる。今後のマチ・地域づくりをどのように考えているのか。

答 少子高齢化が進み、過疎化が進み市制施行時の10分の1以下です。人口減少対策は、重要課題です。企業誘致と産業の創出で雇用の場の確保、移住定住の促進、子育て支援や高齢者対策の施策で実を結ぶに至っていない。市政執行方針の施策を着実に推進することが重要です。

三 災害の予防対策について

問 2月に河川底さらいをしてたが、他地区も河川のゴミや樹木にゴミがあり、見苦しいので処理する考えは。

答 ペンケ川は、北海道管理河川です。この冬、文珠から神威地区を実施した。市も未実施地区について継続して要望してまいります。



下山 則義

一 施設入所者に対する措置費について

問 当市から各福祉施設の入所措置に伴い、措置費が支払われていますが、四月の消費税増税による財政の影響について。

答 当市が支払っている措置費は、国の指針に基づく単価で設定しており現在のところ、消費税増税に伴う改訂は行われていないので、財政への影響は無い。

二 市立図書館

サテライトについて

問 市立図書館サテライトが、公民館で試験的に始まりアンケートが行われていますが、移設場所・時期も含めたスケジュールと図書館利用者数の増加や、将来的な図書館機能の拡充について。

答 移転等については、利用者からのアンケート内容や活用状況を見極め検証する。また、公民館は、各種サークルや会議等のほか、銀行や郵便局なども隣接しており対流人口が多く、施設利用者は、





増加すると考えますし、サテライト図書館を地域サロンの場として、利用を視野に入れながら、図書館事業の継続及び見直しを行うと共に、公民館活動との連携を含む事業展開も取り入れ、利用者増加策を検討していく。

三 児童館の

管理運営について

問 児童館の利用者数や放課後子どもプラン推進事業及び学童保育の利用者数は。

答 東光児童館が、1716人、放課後子どもプラン推進事業参加者は、116人、神威児童センターでは2799人、学童保育は1854人の利用。

問 当市の地理的状況や児童の居住地域が、以前と変わっており児童館数や、設置場所の見直しの必要性を感じるが。

答 子供の居住状況は、二極化していて、子供の多い文珠地区に設置する事も考えられますが、児童館以外の施設にも子供の居場所となりうる施設があるので、今後の動向を見極めながら検討して行く。



めぐみ さとし

一 介護保険制度について

いま国会では医療・介護総合法案を審議している最中だが、その中身は住みなれた地域で医療や介護、福祉等のサービスを一体的に受けられる地域包括ケアシステムを構築するためとしながら、国民に對して医療と介護について大幅な負担増と給付減を押し付けるもので、医療では、都道府県が病院・病床の削減、再編に向けた地域医療ビジョンを策定する等、介護分野では、要支援サービスの『介護予防訪問介護』と『介護予防通所介護』の実施主体を国から市町村へ移管する。特養老人ホームの新規入所基準を要介護3以上に厳格化。一定以上所得者の施設入所への居住費・食費の補助を縮小等、こんな改善が実施されれば誰もが住みなれた地域で安心して医療や介護を受ける事が出来なくなります。

そして国会の委員会でも、介護での一定所得者の介護保険サービスの利用者負担を1割から2割へ引き上げる政府の

論拠について、日本共産党の追及を受け、核心的部分を政府は「撤回する」と表明し、論拠が完全に崩壊している。

こんなでたらめな法案をおこなえば地域に根づく医療・介護が崩壊しかねないと思う。

問 「医療・介護総合推進法案」をどう捉えているか。

答 今法案は、地域支援事業の包括的支援事業に、在宅医療と介護の連携推進に係る事業を追加し、地域特性が加味される様各自自治体で運営して行く事や、特別養護老人ホームの中重度者への介護の重点化等、自治体の力量に任せられる要素が多く、自治体間でのサービス水準にバラつきが生じるのでは等の心配の声が全国的に言われている。当市としても、どの様な取組みや運営の仕方が良いか、広域連合及び構成市町や、近隣市町等の状況を踏まえながら検討して行く。

問 地域に根づく医療・介護を充実しなければ安心して住む事が出来ないのでは。

答 広域連合構成市町で、地域によりサービスのバラつきが出ない様に十分議論し、対応して行く事になっている。



湯浅 礼子

一 高齢者にやさしいまちづくりについて

問 厚生労働省は認知症施策推進五カ年計画「オレンジプラン」を公表、また地域包括ケア・システム構築・認知症サポーター養成などの推進をしています。厚生労働省の施策をうけて、歌志内市としての対応・取組みについて。

問 当市のキャラバンメイト有資格者は、北海道の情報では7名との事で、うち1名は地域包括支援センターの職員が昨年、研修を受講し資格を取得。そして昨年度、「NPO法人・中空認知症を支える会」の協力を受け、4回にわたって一般市民を対象に、認知症基礎講座を開催した。

問 当市では、介護認定調査員が調査した「認知症高齢者の日常生活自立度」に基づいた資料によると、平成26年4月末現在、在宅者205名中115名の方が認知症を有している状況。更に、現在は物忘れの程度が年齢相応程度で病的なものではないと思われる方も含めると177名。

問 職員のアイデアを頂き、人口減少などの危機感を訴え、貢献して頂けるよう町内会の皆様をお願いすると共にチロルの湯、神威岳などのイベント等を企画し当市に足を運んで頂ける施策が出来ないか、また当市の方向性について。

答 歌志内に期待をして頂けるよう、歌志内を特徴づけた開発に取り組んでみたいという方が居るとするならば行政の方も支援したいと思う。

在宅での、医療と介護の施策では早期に発見し早期に適切なケアと支援が大切と考えるので、医療・介護の現場と、連携・情報を共有しながら、早期フォローに繋げて行く。

二 ふるさと納税について

問 心温まる反響をよんでい

答 本年度より、寄附者への感謝と地元特産品のPR並びに販売促進を目的として「チロルの漬物」「かもい高原はちみつ」の何れか一つを一万円以上の寄附者へ進呈する事にした。

問 職員のアイディアを頂き、人口減少などの危機感を訴え、貢献して頂けるよう町内会の皆様をお願いすると共にチロルの湯、神威岳などのイベント等を企画し当市に足を運んで頂ける施策が出来ないか、また当市の方向性について。

答 歌志内に期待をして頂けるよう、歌志内を特徴づけた開発に取り組んでみたいという方が居るとするならば行政の方も支援したいと思う。



本田 加津子

一 地域福祉計画について

問 買い物・通院に困らない地域づくりに向けての取組みについて。

答 高齢者に対する交通手段への支援として、要介護3、5の認定を受けている方に外出支援サービス事業を実施しています。通院や買い物に際して、不便を感じているという声は、地域福祉計画策定の話し合い等様々な場面で課題として捉え、計画の中に買い物・通院に困らないまちづくりを施策に掲げています。これまでの議論の中では、先進地の事例も承知しておりますが、当市の場合、市内に路線バスが運行しており、通院や買い物に行き先が、市外であるという問題もあり、なかなか難しいというのが現状です。今後は、外出支援サービス事業の拡大や新たな支援の方策を研究してまいりたいと考えています。

問 雪に負けない環境づくりを目指すための実施内容と今年度の取組みについて。

答 行政と地域が一体となつて高齢者の除雪対策を推進する事としているが、昨年度、福祉サービスとして実施している老人家庭除雪事業の利用者負担割合の見直しを行い、低所得者が利用しやすい制度にしました。今年度も、この事業を継続して実施し、より効率的・効果的な実施体制の研究を行い、行政や町内会などが一体となり高齢者の除雪対策を推進していく事としていきます。

二 社会教育の推進について

問 プールや体育館の今後の在り方と今年度について。

答 今年度は、体育館の電灯取替、プールは、プールサイドのマット設置、脱衣所のスノコをプール用ホットスノコに取替など、快適性の向上に努めます。なお、市民体育館・市営プールとも年数が経過して老朽化が進んでいます。当面は施設の延命を図りながら、利用状況の実態把握と定住自立圏構想等の動向に注視して行く。

【議会での発言】

議長 山崎 数彦

議会は「言論の府」といわれ、議員が発言する場合は、一定の制限以外においては、その発言は自由となっています。

議会における発言は、住民の代表としての発言であるだけに慎重を要し、一言一句に責任をもち、独善でしかも傍若無人の振舞いであつてはいけなさとされています。

かつ、われこそは、住民の代表であり、「いざ尋常に勝負せん」の考えはやめて、賢慮な態度と格調高い発言でありたいものです。

さらに、議員の発言は、発言の趣旨、内容を明瞭にし、かつ簡単にし、議会全体の能率的な運営へ協力しなければならぬ議員としての責任も加味されています。

このように議会での発言は一定のルールがあり、このことを順守することにより会議の秩序が保たれています。

可決された意見書

- 総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書
- 地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書
- 中小企業の事業環境の改善を求める意見書
- 鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書
- 二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書
- 過労死等の防止に関する総合的な対策を求める意見書
- 労働者派遣法改正及び労働時間上限撤廃など労働法制改善に反対する意見書
- 集団的自衛権に関する憲法解釈の変更反対する意見書
- 特定秘密保護法の廃止を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- 平成26年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

編集後記

暑くなったり、雨が長く続いたりで体調管理が大変な季節ですが、皆様健康には十分気を付けてお過ごし下さい。